



消防だより

11月の広報テーマ
「高齢者の死傷事故防止」

119

お年寄りを火災から守るために気をつけることは？

寒 い北風とともに家庭では暖房器具を使用する季節が到来しました。

これから来年の春先まで毎日使用するものですが、特に移動式のストーブについては周囲の状況をよく注意しなければなりません。

使用場所付近にあるカーテンや布団などの可燃物が、何らかのわずかで接触し、または輻射熱などが原因で着火し火災が発生することがありますので、十分注意するとともに、移動式に限らず暖房器具のまわりは常に整理整頓に努めてください。

また、お年寄りの方と同居される家庭で特に願いたいことは、普段元氣そうに見えるお年寄りであっても、火災の発生時は気が動転し素早い避難行動が取れず、全く動けなくなることが考えられますので、万が一に備え、お年寄りの寝室は極力1

階にするなどの配慮をお願いします。

日赤合同救護訓練が行われました

日 赤北海道支部が毎年行っている災害救護訓練を、今年は東北を含めた7支部合同で10月27日から3日間洞爺湖周辺を会場に実施。10月29日には、昭和山駐車場を会場に総合実動訓練が行われました。

訓練参加協力の依頼を受け、当消防組合からは救急車3台（虻田・温泉・壮瞥）と救助工作車（虻田）・水槽車（壮瞥）が参加しました。

訓練は大規模地震の発生に伴い、乗用車の衝突事故など多数の傷病者が発生した想定で多くの日赤の医師・看護師・看護学生などが参加しました。

消防では、事故車両からの傷病者救出や傷病者の緊急度の判別、救護所から病院への搬送などを行いました。

大規模災害で重症の傷病者を



日赤合同訓練のようす

西胆振消防組合発足35周年消防合同訓練を実施!!

見極め、救命につながるために大変有意義な訓練でした。

10 月1日、洞爺湖温泉町の洞爺パークホテル天翔を訓練会場として、組合発足35周年消防合同訓練が実施されました。

この合同訓練は、高層建築物の火災発生時における初動体制や防ぎよ活動の対応など、参加した組合管内の消防機関（消防署・豊浦・壮瞥・洞爺・大滝支署及び消防団）の相互連携と協力体制を図ることを目的に出動車両20台、消防職・団員約200人が、実戦さながらの消火活動および救急救助活動など、迅速的確で組織的な訓練を実施しました。

訓練終了後、洞爺湖温泉町の文化センターで式典が行われ、胆振支庁長、篠原町議会議長から祝辞があり、参加した消防職・団員は「この訓練をいざという時に生じて地域住民の安全に努めたい」と、改めて気を引き締めていました。



ホテルを会場とした消防合同訓練

防火管理者講習会を開催

10 月4日、5日の2日間にわたり、虻田町合同庁舎の3階防災センターで防火管理者資格取得講習会が開催されました。防火管理者の資格は防火対象物の規模によって、甲種および乙種の2種類があり、今回両方合せて42名の方が防火管理に必要な法規や実技を熱心に学ん

でいました。

修了式では、受講者の多くから「自分が勤務する事業所から火災を出さないため火気管理の徹底と、万一火災が発生した場合、被害を最小限にするための対策を徹底したい」との声が多く聞かれ、受講者の熱意が感じられる有意義な講習会となりました。



熱心に学ぶ受講者

統一標語は「あなたです火のあるくらしの 見はり役」

Fire

●●9月の...●●

救火災

580件